



吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2022-23



**IMAGINE
ROTARY**

創立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長：伊藤泰充 幹事：橋本芳信 クラブ会報委員長：瓜生晴彦

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

第1853回例会 令和4年7月4日
 今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」
 卓話 「新年度挨拶」

伊藤 泰充 会長
 紙谷 幸弘 副会長
 「今年度主要行事予定」
 橋本 芳信 幹事

前回の記録

去る2022年6月21日、当クラブ 新井 清パスト
 会長がご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り
 申し上げます。

次回の例会

第1854回例会 令和4年7月11日
 今週の歌 「4つのテスト」
 卓話 「新年度理事挨拶」

榎原 一滋 クラブ奉仕担当理事
 仁科 直樹 国際奉仕担当理事
 清水 大吾 職業奉仕担当理事

ムを受注したが、乗客が非常通報の操作ができない状況になる事案となるため、近畿総合通信局に運用を認めるよう要望した。

免許人でない乗客が操作するのであれば、操作した乗客の、氏名、住所、電話番号、日付を免許人が記録して近畿総合通信局へ届け出する必要があると指導してきた。

そもそも踏切防護無線機は、踏切内の非常時は、居合わせた一般人が操作する。防護無線が受信した運転士は、緊急停止をするもので、免許人は通報者の把握はほぼ不可能である。

まして数十年以上も前から免許取得して運用している踏切防護無線局が「なんで今更そんな事をいうか」と、現在の免許人担当者は、そうは言っても官に逆らって逆襲をくらったら大変なことになるので回答に苦慮している。

そこで私は、近畿総合通信局と交渉してもらちが明かないので、電波法を改案できる国会議員を通して、本庁の総務省担当者を霞が関の議員室に来てもらって相談する場を持ってもらった。三名の総務省の電波担当官は「こうした運用は、総務省の定める電波法では、適用される法律が無いため電波法上違法となり、実運用と法律が合致しない状況となっている」と、相談内容に理解を示され、違法とならないような法律を変更するので少し時間を下さいとなった。

途中、2~3回総務省とやり取りをWeb会議の末、総務省と国会議員から6月にパブリックコメントに出したので、本案件は、一般からの反対する理由がないので、電波法がたった6か月間で変更されることになることとです。

私は、近畿総合通信局の、法の番人としての担当者が電波法の解釈を盾に、本人の正義感だけで判断し、世の中の実態に合っていないことを、本庁に伝えることをせず、国民（鉄道事業者や中小企業）の声にも耳を傾けなかったのは、地方役人の器の小さな責任感が世の中の困りごと解決から逃げているのだろうと思った。

会長挨拶

杵本会長



私は、今日が最後の会長挨拶になります。

今日の話は、私の体験談で中小企業でも電波法をたった6か月で変えることができた話をします。

踏切内の非常時、一般の人が非常停止ボタンを押すと、列車に無線通報し、通報受信した運転士は列車を止める踏切防護無線がある。また、列車又はケーブルカー、ロープウェイなどの車内の非常時、乗客が車内の非常通報操作すると、免許人以外の無線局操作となり、電波法違反となると近畿総合通信局が見解を示し、鉄道各社に運用方法の質問状を通知した。しかし、従来からこのような運用で免許を取得している鉄道事業者は、突然違う見解を言われて面食らって回答をためらっている。

私の会社では、複数のケーブルカー無線制御システ

幹事報告

木下幹事



新井 清パスト会長夫妻 令和4年5月8日 上高地にて

1. 先日、メール並びにFAXにてご連絡申し上げました通り、去る2022年6月21日、当クラブ 新井 清パスト会長（パストガバナー補佐）がご逝去されました。享年84歳でした。今年の5月6日が58回目結婚記念日だったそうです。新婚旅行で行かれた上高地にご旅行をされたそうで、葬儀会場に飾られていたお写真はその時にお撮りになられたそうです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
2. 2022-23年度7月の卓話予定表がレターボックスに入ってます。ご確認下さい。
3. 今年度最終の幹事報告となりました。

皆様、一年間有難う御座いました。来年度の伊藤会長並びに橋本芳信幹事には充分以上の引き継ぎをさせて頂き、今後の吹田西ロータリークラブの益々の発展に貢献していきたいと思っております。

出席報告

出席委員会 本田委員長

- 会 員 数 41名 出席会員数 39名
- 来 客 0名 本日の出席率 100%
- ※コロナ禍によるメーキャップ規定により6月13日の出席率は100%

社会奉仕委員会

橋本(幸)委員長

社会奉仕委員長の橋本幸治です。今年の大阪府無事故無違反チャレンジコンテストですが、無違反は達成でしたが無事故の方は残念ながら達成できませんでした。これからも安全運転を心がけて行きましょう。参加いただいた方の運転記録証明書をボックスに入れますのでご確認ください。1年間ありがとうございました。

次年度社会奉仕委員会

近藤委員長

まず、先に社会奉仕橋本幸治委員長から報告の有った「大阪府無事故無違反チャレンジコンテスト」で違反は無かったが事故は有ったとの報告が有りました、事故は私です。

昨年12月7日に軽微な接触事故をして皆様の足を

引っ張り大変申し訳ございません。

猛省し来年度社会奉仕委員を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

先週の例会に引き続き社会奉仕委員会から次年度7月早々の社会奉仕事業のご連絡をさせていただきます。

7月1日(金)今週金曜日ですが、当クラブ主催のクリーンデーを実施します。

時間が許せる方は午前7時30分に当ビルの1F西口に集合よろしくお願い致します。

7月3日(日)次の日曜日ですが、豊津西地区青少年対策委員会の主催で「クリーン・エサカが実施されます。

例年、当クラブは協賛しており午前10時30分に豊津西中学校グラウンドに集合お願い致します。

協賛金の贈呈も有り、次年度の伊藤会長の初仕事になると思われます。

お時間の許される方は是非とも、ご参加よろしくお願い致します。

週間天気予報を見ていると、両日とも雨は無さそうですが、クリーン・エサカは雨天中止の場合は午前8時に江坂大池小と豊二小の校門に掲示されます。

また、不明な場合は私の携帯電話にお手数ですが連絡お願いします。

職業奉仕委員会

堀委員長

本日配付されている会報の中に、2月より開始しました職業奉仕インタビューをA4サイズ表裏で入れさせていただきますいております。

最終回となる今回は長屋会員のインタビューです。会社の社長などとは異なる弁護士という職業の視点で、職業奉仕への考え方を興味深く聞かせていただきました。皆さん是非ご一読ください。

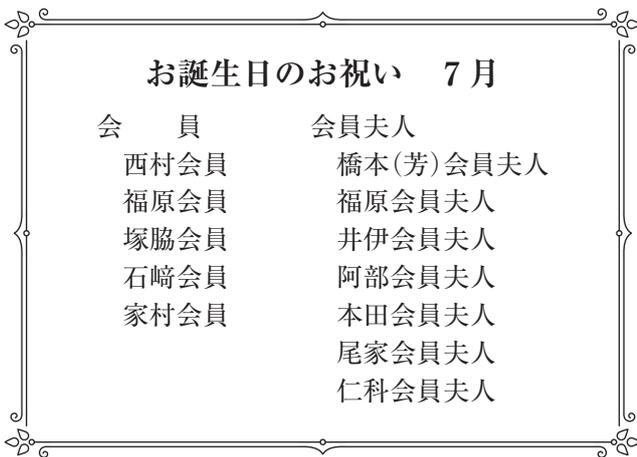
ニコニコ箱

清水(大)副SAA

- 杵本会長 みなさまのご協力を受け無事会長を終えそうです。ありがとうございました。
- 瀧川パスト会長 長い間お世話になりました。皆様とクラブの発展を祈念いたします。
- 尾家パスト会長 故新井パスト会長の通夜、葬儀では会員各位お疲れ様でした。
- 橋本(芳)会員 新井パスト会長色々ありがとうございました。杵本会長1年間おつかれさま。木下幹事色々ありがとうございました。
- 堀会員 職業奉仕理事を務めさせていただきました。皆様ご協力ありがとうございました。
- 村井パスト会長 杵本会長ご苦労さん、伊藤さんガンバッテ下さい。
- 清水(大)会員 新井パスト会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。副SAAとして1年間ありがとうございました。
- 木下幹事 新井清パスト会長のご冥福を心からお祈り致します。また幹事の大役を終えます。皆様ありがとうございました。

- 佐藤会員 新井パスト会長の葬儀のお手伝いの方お疲れ様でした。
- 瀬川会員 誕生祝いの品ありがとうございました。
- 橋本(幸)会員 新井先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。
- 近藤会員 次年度の社会奉仕事業のご協力よろしくお願い致します。
- 塚脇会員 本日レストランのご案内をBOXに入れて頂きました。どうぞよろしくお願い致します。
- 小川パスト会長・家村パスト会長・井伊パスト会長・青木パスト会長・石崎パスト会長・阿部副会長・紙谷会員・西村会員・木田会員・榎原会員・坂本会員・福原会員 杵本会長、木下幹事1年間お疲れ様でした。

本日のニコニコ箱	100,000円
累計のニコニコ箱	1,237,350円
累計のニコニコB	11,000円



卓話

次年度活動方針 伊藤 泰充 会長エレクト

最初に、先週新井パスト会長が亡くなられ、急なことで大変驚きました。

出張中で葬儀には参列できず申し訳なかったとおもっております。

新井パスト会長が4月に私の人生（今まで歩んできた事伝えます）で卓話頂いた事が最後の思い出となりました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

さて、次年度の活動方針を発表させていただきます。

<吹田西ロータリークラブ 2022-2023年度 会長方針>

2022-2023年度RI会長ジェニファー・ジョーンズのテーマは、

「IMAGINE ROTARY」

<想像してください、私たちがベストを尽くせる世界

を。私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています>

そして、それを踏まえて今年度我々、吹田西RCロータリー会長テーマは、**「ロータリアンの健康増進、そして活動を楽しみ、変化を！」**

人生100年時代と言われています。

健康で100歳まで生きるということは、60歳で定年というような概念ではなく、健康で80歳を超えても元気にベストを尽くせる活動ができることを意味します。

まず、ロータリアンとその家族の健康増進、そして地域の皆様の健康意識を高め、その世界（地域）に変化をもたらせる奉仕活動も行いたいと思います。

また、会員増強はもちろんのこと、「多様性・公平さ・インクルージョン (DEI)」を実現することで更なるロータリー活動がインパクトのあるものとなっていくように思います。

日本における多様性は、人種や宗教ではなく性別・年齢・出身地などが考えられます。

特に女性会員、そして年代のバランスも意識する必要があります。

会員増強の具体策、継続可能なものが望ましいと考えます。

今年度も引き続き、より多くの方々が参加できるようハイブリッド例会を継続します。

主な活動

- 社会奉仕を基盤にした地域社会への奉仕活動<新たな挑戦>
- 従来行ってきた奉仕活動の継続・実践<継続>
- 吹田西ロータリークラブの更なる周知の実行<周知>
- 奉仕活動を通じての地域社会とのコミュニケーション創り<共感>

主な目標

クラブビジョンの実践

- 会員増強 純増3名（男性会員2名、女性会員1名）達成
- 親睦と奉仕の機会をつくる
- 社会に奉仕する
- 奉仕の理念を実践する
- 国際理解、親善、平和を推進する
- 青少年活動を支援し若きリーダーの育成
- ニコニコ総額150万円
- ロータリー財団 年次寄付160ドル、ポリオプラス基金寄付50ドル、恒久基金寄付10ドル、米山記念奨学会寄付3万円（会員ひとり当たり）

来週7月より1年間、幹事・理事・役員の方々、そしてクラブの皆様には大変お世話になるかと思いますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

最後に杵本会長お疲れ様でした。



伊藤 泰充 会長エレクト

一年を振り返って 杵本日出夫 会長

会員の皆様、一年間ありがとうございました。会長を拜命して、初めて会長の挨拶をさせて頂いたのですが、緊張してメモの話はできず、何を話したのかよく覚えていませんでした。木田会報委員長に、「挨拶原稿をメールで送ってくださいね」と催促されて、挨拶内容はあらかじめ原稿にしておくことを実践の第一歩として反省することになりました。この一年間を振り返りますと、皆様の支えがあったることとたいへん感謝申し上げます。

さて社会奉仕活動から振り返りますと、身近な地域活動とし、「毎月1日はクリーンデー」を江坂企業協議会と共に活動しており、特に今年の11月1日には「クリーンデー」30周年を記念しクリーン活動に引き続き早朝例会を初めて実施し、すがすがしい気持ちになる体験をしました。

また、地元の地域の子供達にジャンボ将棋の面白さを多年度に渡って伝えて、楽しんで継続してもらおうと、地区補助金を使用して吹田市歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）にジャンボ将棋駒を2セットと将棋盤を寄贈することができました。

橋本幸治社会奉仕委員長お世話ありがとうございました。

親睦活動では、春の家族例会は、コロナ禍の状況でしたのでアルコールなしではありましたが、参加ご夫人も活動の趣旨を十分ご理解していただいております、それなりに皆様が場を盛り上げて楽しんでおられました。

冬のクリスマス家族会は、アルコール付きで開催でき、お子様の参加はコロナ禍の事情により控えさせて頂きましたが、会員ご夫人にはご参加頂き、さすがアルコールの力ですか、久しぶりに皆さんが赤く染まったお顔で、楽しく談笑されておられました。

ステージでは、私の友人でアロージャスオーケストラのベーシストの宮野友巴さん、またプロピアニストの小林沙桜里さんをお迎えし、生演奏で楽しんで頂いた後、臨時結成した吹田西RCバンドの出番です。

青木パスト会長がバイオリンを、佐々木会員がボーカルを、杵本がサックス演奏を担当して、ベーシストの宮野さんとピアニストの小林さんに伴奏して頂きクリスマスソングを楽しみました。最後は、久しぶりに「手に手つないで」を参加者全員で歌い、楽しいクリスマス会を終えることができました。福原親睦委員長コロナによる影響で計画変更などのお世話ではお疲れさまでした。

国際地区補助金を利用したナコンパノムへの冷却装置付き浄水器贈呈式は、現地事業校とZoom会議で開催し、コーディネータのアリサラさんの通訳により、贈呈式を無事終了することができました。

国際奉仕木田副委員長は、委員長の不在の中、Web会議推進委員長の役割も含めほんとお世話になりありがとうございました。

私個人の心に残る卓話として、田中パスト会長の棺桶製造の裏話は、大変興味深く聞かせて頂き、お葬式の場面でいつも思い出してしまいます。

書道家上原梅経様の「書道家が愛を語る」の卓話は、紀元前1300年も前に生まれ字体が時代と共に変遷していく様がとても興味深く、中でも「愛」と文字をテーマにして、会員様が書かれた文字から性格や個性を読み取られていたのは大変興味を持ち筆文字っていいものだと感心しました。

橋本芳信プログラム委員長、楽しいプログラムありがとうございました。

本年度5月20日には、当クラブの熊本地震災害支援から始まった活動が、交流となり、熊本城が目の前に望む花畑御殿城見櫓で、吹田西RCと熊本中央RCの友好クラブ締結調印式を橋本徹也団長主導のもと、実行することができました。交流継続の力が締結調印式となりました。お疲れさまでした。

例会の始まり音楽として、月初には「君が代」と「奉仕の理想」、月末は「我等の生業」を合唱し、月中については、70～80年代のフォークソングを榎原音楽委員長の声量ある歌声で歌唱リードされ皆さんと懐かしい曲を楽しみました。最後の6月に、佐々木会員のボーカルとギターに加え、私もサックスで参加して「また逢う日まで」を楽しみました。榎原音楽委員長の懐かしくて楽しい選曲ありがとうございました。

まだまだ、活動して頂いた皆様のご紹介をしたいのですが、お時間の都合により以上のご報告とさせていただきます。

最後になりますが、理事会の運営そして幹事報告に、ご尽力頂いた木下幹事及び理事、会計幹事、地区代表委員会、そして各委員会の皆様のご協力に改めて労をねぎらい御礼を申し上げます。